

2009年3月7日 Asahi.com

「米医療制度改革、年末までに立法化」オバマ大統領表明

【ワシントン＝西崎香】オバマ米大統領は5日、議会や医療、保険業界、経済界などの有力者、労組幹部ら約150人を招いた「医療制度改革フォーラム」をホワイトハウスで開催し、「包括的な医療制度改革を年末までに立法化することが目標だ」と表明した。

「国民皆保険」を視野に入れた医療制度改革は、大統領の公約で、誰もが手頃な値段で健康保険に加入できる制度をめざす。

参加者からは、90年代のクリントン政権期に挫折した医療改革を念頭に「今回こそは失敗させない」（ケネディ上院議員）などの声が上がった。超党派による調整を経て7月から法案審議を始めるとの提案も野党幹部から出た。

医療コストの削減や雇用主の負担、公的保険の財政措置など課題は大きいですが、大統領は「問題を先送りすることは出来ない。のしかかる医療費の問題に今年中に取り組みなければならない」と発言。人口の約15%を占め、4600万人近い医療保険の未加入者を減らす一方、コスト軽減などで公的医療の財政負担を和らげる必要性も指摘した。